

米海兵隊垂直離着陸輸送機MV22オスプレイの低空飛行訓練の中止を求める意見書

日米両政府は、米海兵隊垂直離着陸輸送機MV22オスプレイの沖縄県への配備を多くの国民・沖縄県民の反対を無視し強行された。その上、先日、オスプレイを沖縄県だけではなく、米軍厚木基地への配備も両政府の取り決めにより決められていたことが報道された。

オスプレイは開発段階から事故を多発し、安全性の問題が取りざたされてきた。

これまでも厚木基地から飛び立った戦闘機が起こした事故は、私たち厚木市民の身近でも多く報告されている。両政府は沖縄県へ配備するに当たり「住宅地上空では訓練は行わない」などのいくつかの条件を挙げてはいるが、米軍専用空域の一つである首都圏を中心とした「横田エリア」には、神奈川県も含まれており、このまま事故を繰り返すオスプレイの訓練が行われることは、騒音やその他市民の生活に大きな不安を与える。

よって、国においては、市民の安心・安全を守るためにも米海兵隊垂直離着陸輸送機MV22オスプレイの低空飛行訓練を中止されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年12月21日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣 殿
総務大臣
外務大臣
防衛大臣

厚木市議会議長 神 子 雅 人